

学習システム促進研究センター講演会 講演会シリーズ No.16
(2016年7月2・5日開催)

シカゴ大学実験学校の講演会「アメリカの教育改革と学校教育の再設計」

池野 範男

本報告は、2016年7月2日と5日、学習システム促進研究センター（RIDLS）が主催した講演会「アメリカの教育改革と学校教育の再設計ーシカゴ実験学校の21世紀型学習ー」の概要を述べたものである。

講演会のプログラムと概要を解説したうえで、その成果を述べた。成果として次の3点を指摘した。

- (1) 1896年、デューイによって設立されたシカゴ大学実験学校は、彼の教育についての考えを実際の教育現場で進めることであったが、その後もデューイの進歩主義教育を実践する学校として続いている。
- (2) 現在のシカゴ大学実験学校も、進歩主義教育の理念を継承し、経験の再構成、生活と経験、とくに、教科や教材と経験の相互関係を踏まえ、子どもの中心の教育を推進している。
- (3) 教科の教育もその役割を継承し、知識教授とともに経験の再構成、創造を果たすものとして進められており、社会科、美術科もその役割を担っている。

1. 講演会のプログラム

広島大学学習システム促進研究センター (RIDLS) がシカゴ大学実験学校の校長、シルビー・アングリン先生をはじめ、3名の先生方をお招きし、諸団体の支援を得て、2016年7月2日(土)と7月5日(火)に講演会を主催した。講演会は、学習システム促進研究センターのシリーズ No.16 として「アメリカの教育改革と学校教育の再設計ーシカゴ大学実験学校の21世紀型学習ー」として開催された。

下記に、7月2日の東京会場と7月5日の広島会場とで同一であったプログラムを示しておきたい。

【第1回講演会 (東京会場)】

日時：2016年7月2日(土) 13:00~17:00

会場：キャンパス・イノベーションセンター・東京 多目的室1

【第2回講演会 (広島会場)】

日時：2016年7月5日(火) 13:00~17:00

会場：広島大学大学院教育学研究科 L205

プログラム

12:30~ 受付

13:00~13:05 開会の言葉、趣旨説明

13:05~14:05 「小学校における21世紀型の学びを創るー好奇心、創造性、自信、学力」

シルビー・アングリン (Sylvie Anglin) 校長 (シカゴ大学実験学校小学校・校長)

14:05~15:05 「小学校のクラスにおける社会科の統合」

ロブ・レイ (Rob Ley) 教諭 (シカゴ大学実験学校社会科カリキュラム編集責任者)

15:05~15:15 休憩

15:15~16:15 「芸術による体験学習」

ジーナ・アリシア (Gina Alicea)

教諭 (シカゴ大学実験学校美術科部門主任)

16:15~16:55 質疑応答

16:55~17:00 閉会の言葉

2. 講演会の成果

参加者とともに講演を通して追究しようとしたことは、21世紀の今、学校は、何のために、どのような教育を、どのような形で行うのがよいのか、という問題である。

この問題に関してシカゴ大学実験学校の改革を通して、究明しようとするのである。その成果は、次の3つにまとめることができる。

- (1) 1896年、デューイによって設立されたシカゴ大学実験学校は、彼の教育についての考えを実際の教育現場で進めることであったが、その後もデューイの進歩主義教育を実践するものとして続いている。
- (2) 現在のシカゴ大学実験学校も、進歩主義教育の理念を継承し、経験の再構成、生活と経験、とくに、教科や教材と経験の相互関係を踏まえ、子どもの中心の教育を推進している。
- (3) 教科の教育もその役割を継承し、知識教授とともに経験の再構成、創造を果たすものとして進められており、社会科、美術科もその役割を担っている。

著者

池野 範男 広島大学大学院教育学研究科